

令和 4 年度主要事業の進捗状況について

R4事業計画

◆仙南が誇る多様な地域資源を活用した観光・交流の推進

▶ 広域観光・物産情報の発信強化

- ① SNSを活用した観光PRの強化
Twitterキャンペーンの実施

- ② 「ひなの郷せんなん」

▶ 広域連携による仙南地域への誘客促進・食のブランド化

- ③ 仙南・置賜連携事業「白石城VS米沢城」

- ④ 道の駅等と連携したマルシェ開催

- ⑤ 「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業

- ⑥ みやぎ蔵王温泉郷振興事業

- ⑦ 「県南ご当地キャラクターを探せ！2022」

- ⑧ ウォーキングアプリ「aruku&（あるくと）」連携企画

◆人口減少・少子化等地域対策強化事業
[R4～R6]

- ⑨ 仙南アドベンチャーツーリズム推進事業
「子ども遊VIVA！みやぎZAO」

上半期の取組実績

① SNSを活用した観光PRの強化

- Twitterキャンペーンを2回実施
①6/6～6/15, ②9/12～9/21※フォロワー数約6,300人
- 公式Instagram開設（R4.4.12）※フォロワー数約400人

② 「ひなの郷せんなん」

- 昨年度アンケート実施、方針決定（これまでの取組に加え、一体感をより高めるため、以下の取組を追加で実施予定）
(1)新たに共通ののぼり旗を作成
(2)ひな祭り限定スイーツメニューを中心に掲載

③ 仙南・置賜連携事業「おでかけむそーらり～」

- 10/1～実施中（～11/30）
- 本事業の同時開催企画として「仙南の麺を堪能！白石温麺『おくずかけ』×そば」キャンペーンを実施

④ 道の駅等と連携したマルシェ開催

- 管内の道の駅等と連携したスイーツイベント開催
(4/24：道の駅かくだ, 5/28～29：おもしろいし市場)
- 「道の駅ふくしま」つながるフェスタの開催準備

⑤ みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業

- 三つ折リーフレットの作成, 情報発信 等

⑥ みやぎ蔵王温泉郷振興事業

- 温泉ソムリエと打合せ, 動画制作協力について温泉施設に打診 等

⑦ 「県南ご当地キャラクターを探せ！2022」

- 7/1～9/30まで開催（終了） ※応募数 1,014通

⑧ ウォーキングアプリ「aruku&（あるくと）」連携企画

- 9/1～「秋の仙南満喫ウォークラリー」実施中（～11/30）

⑨ 仙南アドベンチャーツーリズム推進事業

- 仙台圏の子育て世帯を対象としたアンケート調査（済）
回答数：280件
- モニターイベント実施に向けた打合せ
- 仙南地域のアクティビティコンテンツの情報収集
（各市町及び所内各部への照会, 洗い出し）

下半期の取組予定

① SNSを活用した観光PRの強化

- Twitterキャンペーン3回目実施予定（1月頃）

② 「ひなの郷せんなん」

- ポスター, リーフレット, のぼり旗の作成（11～1月）
- キャンペーンPR展開（2～3月）

○仙南ひな巡り&食の魅力体験バスツアー【観光地域づくりチャレンジ事業（ふるさと納税充当事業）】

- 「ひなの郷せんなん」を活用し, 仙南地域及び山形県・福島県のひな祭りイベントや飲食店等巡る日帰りバスツアーの実施（2～3月）

③ 仙南・置賜連携事業「おでかけむそーらり～」

- 効果測定（アンケート等の取りまとめ, 分析等）
- 賞品発送 等

④ 道の駅等と連携したマルシェ開催

- 道の駅村田にてマルシェ予定（11/12～11/13）
- 「道の駅ふくしま」つながるフェスタ予定（11/5～11/6）

⑤ みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業

- 各キャンペーンの景品等でPR, 情報発信 等
- 第2回圏域会議で新規の品目（「SASA秋天」「はちみつワッフル」他を推奨予定（11/4）

⑥ みやぎ蔵王温泉郷振興事業

- 温泉動画の撮影, 編集, 情報発信

○みやぎ蔵王三十六景+ぶらす の設定

- HPへの掲載, SNSでの情報発信 等
- 仙南地域のキャッチコピーロゴ作成, PR

⑦ 「県南ご当地キャラクターを探せ！2022」

- 抽選及び賞品発送
- アンケート取りまとめ, 次年度に向けた検証, 準備 等

⑧ ウォーキングアプリ「aruku&（あるくと）」連携企画

- 抽選及び賞品発送
- 事業の検証, 取りまとめ 等

⑨ 仙南アドベンチャーツーリズム推進事業

- モニターイベント実施予定 2回(11/19, 2回目調整中.)
- 仙南地域のアクティビティコンテンツの情報収集
（各施設へのヒアリング調査等）

※仙南地域のアクティビティコンテンツに関する研修会
～「フォレストアドベンチャー」に学ぶ～

- 10月11日 現地視察（七ヶ宿町）
- 10月12日 交流会（ " ）

来年度の予定（案）

① SNSを活用した観光PRの強化

- Instagramフォトキャンペーンの実施【新規】
- Twitter, ブログ等による情報発信継続

② 「ひなの郷せんなん」

- 山形・福島との3県連携情報の掲載をさらに充実

③ 3県連携広域周遊促進の取組【新規】

- 南東北（仙南, 山形置賜, 福島県北・相双）広域周遊ラリー（例えば「猫」など特定のテーマを巡る等）

④ 観光人材育成の取組【新規】

- 住民ワークショップ, 観光関係者の意識啓発, 異業種交流 等）

⑤ 仙南の「食」ブランド化に資する事業

- 所内各部と連携した「せんなん特産市」を合庁で開催【新規】

- 3県連携マルシェの継続開催
- 広域周遊ラリー企画と連動した仙南の食キャンペーンの開催

⑥ 「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業【継続】

- 各キャンペーンの賞品等でPR, 情報発信

⑦ みやぎ蔵王温泉郷振興事業【継続】

- 温泉動画の撮影, 編集, 情報発信

⑧ 「県南ご当地キャラクターを探せ！2023」【継続】

- R4同様, 夏休み期間に実施（7～9月）

⑨ 県南地域部会独自企画

- R5の予算規模に応じた企画を検討

⑩ 仙南アドベンチャーツーリズム推進事業

- R4年度事業におけるアンケート調査結果, 管内のアクティビティコンテンツの情報収集内容, 次年度の取組提案内容等を踏まえ, 仙南地域のアドベンチャープログラムの造成及びモニターツアーの実施, 情報発信ツールの検討 等を行う。

令和4年度 白石市観光振興に係る主要施策について

1 新型コロナウイルスからの回復のための取組

<観光需要回復のためのプロモーション事業>

長引くコロナ禍において「マイクロツーリズム」と呼ばれる近隣地域への旅行が注目されており、白石市は車で1時間程度の距離に県庁所在地が3市も立地している潜在性が高い商圏内にあることから、近隣市町並びに東北6県に向けて重点的にプロモーションを行うことで、マイクロツーリズムを目的とする旅行客の集客を図る。

(1) 各種メディアを活用した観光プロモーション

- ・タウン情報誌S-styleに年4回記事を掲載。うち1回は、東北6県のタウン情報誌に掲載を行う。
- ・仙台市地下鉄の主要な駅に観光パンフレットを配置する。
- ・SNSを活用し、ターゲティング広告の配信を行う。

(2) 誘客促進イベント実施

- ・デジタルスタンプラリーを開催し、市内での周遊を促す。

(3) ホームページを活用した観光情報発信

- ・白石市観光協会のホームページに新たなコンテンツを掲載するなど内容を充実させ、観光地としての魅力向上を図る。

(4) 弥治郎こけしプロモーション

- ・弥治郎こけし村でのイベント開催と併せ、弥治郎こけしの知名度向上、こけし愛好家の裾野を広げるためプロモーションを強化する。



<市内宿泊事業者応援事業>

観光客数は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化、地域経済全体が疲弊していることから、宿泊割引キャンペーンを実施することで観光需要を喚起し、観光関連事業者の下支えを行う。更に、効果を高めるため、同期間にデジタルスタンプラリーを開催し、市内周遊を促す。

- ・実施期間 令和4年11月1日から令和5年2月28日まで
- ・参加事業者 市内11施設
- ・割引金額 1人1泊につき宿泊料金の1/2、上限5,000円
※みやぎ宿泊割キャンペーンとの併用可能
- ・割引対象者 東北6県在住者

2 観光資源の発掘・磨き上げのための取組

<地域おこし協力隊活用事業>

令和2年度より、地域おこし協力隊制度を活用し、白石城内での甲冑体験の実施を中心に、歴史的観光資源や本市の特性を活かしたイベントの企画、実施を行っている。

また、Facebook、Instagram、Twitter、Youtubeチャンネルを活用し、活動の様子や白石市の情報を発信しており、プロモーションの一役も担っている。新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少する中であっても、徐々に活動が認知されるようになっており、隊員の活躍によって白石城をはじめ白石市の魅力が広く国内外に知られるものとなり、引いては観光振興による地域の活性化につながるよう、活動を続けていく。

○おもな活動

- ・甲冑体験の実施 ※白石城災害復旧工事中はイベントに出向いて実施。
- ・白石城前でのキャンプ「城キャンプ」の企画、実施
- ・白石城ガイドの実施
- ・旅行会社への企画提案
- ・オリジナル温麺（ノベルティ）の作成
- ・白石城謎解きガイドの製作
- ・地元テレビ局をはじめメディア出演



令和4年度 角田市の主要施策について

1 各種まつりの開催

4月29日	菜の花まつり	25,872人
5月5日	宇宙っ子まつり	1,548人
6月11日・12日	梅まつり	3,568人
10月2日	ずんだまつり	5,000人

令和5年2月から3月 牟宇姫ひなまつり

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、形式を変更してイベントを開催している。また、角田市のイベントの中でも最大規模である宇宙っ子まつりを3年ぶりに開催し、ニジマスつかみ取りやペットボトルロケットの打ち上げ体験などを実施した。

2 グリーンツーリズムによる体験型観光の実施

6月16日	梅もぎとり収穫体験と納豆工場見学	32名
10月2日	秘伝枝豆収穫体験	411名
10月29日	里芋収穫体験	
11月5日・6日	ねぎまつり（ねぎ収穫体験）	

3 サイクルツーリズム推進計画策定

事業概要 市内に点在する観光地を結びつけるためのサイクルツーリズム推進計画を策定するもの。

実施状況 公募型プロポーザル方式により委託業者を決定し、現在ルートの調査分析やサイクリストへのアンケート実施している。11月にサイクリストなどの有識者を含めた会議を実施する予定。



【村田町】

1、村田町・スポーツランド SUGO 共催「FIM アジアロードレース選手権第3戦日本ラウンド」

8月13日（土）～14日（日）の2日間、町とスポーツランド SUGO が共催で標記レースイベントを開催。スポーツランド SUGO では15年ぶりとなる国際大会で、日本を含めたアジア各国からトップライダーが参戦した。当日はスポーツランド SUGO 内でアジアフードフェスティバルや、町中心部の蔵の町並み内で、蔵の縁日イベントが併催され賑わいをみせた。

また、レースは Youtube や動画配信サイトを通して各国に生中継された。今回のレースをきっかけに、スポーツランド SUGO や村田町のインバウンド観光客増を図る。



2、観光庁【地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業】「武将カート」

10月23日（日）に村田町観光物産協会主催で標記イベントを実施。伊達武将隊、山形愛の武将隊をゲストに呼び、カートによる対決（合戦）を実施。一般参加者を足軽隊として募集し、各武将隊チームに分かれてポイントを競うイベント。カートや貸出するプロテクター、ヘルメットなども全て武将仕様。当日は一般参加者及び武将隊ファンなどが来場した。カートのタイムトライアルや各武将隊の演舞披露があり、スポーツランド SUGO に新たな客層を獲得した。



令和4年度 柴田町の観光振興に係る主要施策について

1 周辺地域を巻き込んだ連携事業

●ガーデンツーリズム推進事業（みやぎ県南地域2市9町との連携事業）

みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結び付け、宮城県南エリアの認知度や交流人口及び関係人口の増加を図り、ガーデンツーリズムの促進と地域活性化を図ることを目的とした「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会」。

令和4年度はホームページを開設し、これまで造成した周遊ルートや、官民が実施する様々な取り組みを発信し誘客促進を目指す。



●白石川堤「一目千本桜」ブランド化事業（大河原町との連携事業）

・商品開発等事業

一目千本桜をイメージできるような土産物の開発や、12月に実施するイルミネーションに合わせ夜間景観形成事業を実施。

・白石川堤「一目千本桜」景観形成100周年事業

令和5年度に、白石川に桜が植樹されて100周年を迎えるにあたって、大河原町と連携し、令和4年度と5年度にキャンペーンを実施する。

令和4年度は100年を振り返る思い出フォトコンテストや公用車のラッピングを実施。



2 交流人口拡大事業

●一年を通じた「花のまち柴田」の四季の花まつり

- ・しばた紫陽花まつり（6月中旬～7月中旬）
- ・しばた曼珠沙華まつり（9月中旬～10月上旬）
- ・みやぎ大菊花展柴田大会
- ・Shibata Fantasy Illumination（12月）
- ・しばたスプリングフラワーフェスティバル（3月中旬）



3 ウィズコロナにおける新しいマイクロツーリズム推進事業

●しばたオータムガーデンフェスタ（10月下旬）

令和2年度より開催している、感染対策を強化した新しい形のイベント。今年度で第3回目を迎える。



令和4年度 丸森町の主要施策について

1 グリーン・ツーリズムと連動した旅行業展開

まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会と丸森“こらいん”ツーリストが連携し、農業にとどまらない体験メニュー商品を造成・販売するもの。

実施日	ツアー名	参加者
5/22(日)	「丸森食を知る×学ぶ×味わう会」	9名
9/25(日)	「栗拾いイベント 栗畑でカフェタイム」	21名
10/25(火)	「俳句を詠むワークショップ + 丸森のうまいものちよこっと満喫」	募集中
-	「七夕神社周辺をめぐり はた織り体験」	-名
-	「丸森とオオカミ信仰」	-名
-	「伊具高校生考案 手ぶらで堪能日帰り BBQ ツアー」	-名

～ については、最小催行人員にとどかず催行中止

2 丸森町町内経済活性化事業

5割増商品券販売事業

町内での消費喚起を促進し、コロナ禍で落ち込んだ地域経済の活性化を図るため、5割増商品券の販売を行うもの。

【事業概要】

- ・事業費 40,500,000円
- ・事業主体 丸森町商工会
- ・取扱店舗 95店舗
- ・販売内容 1セット7,500円分を5,000円で販売
- ・販売数量 15,000セット
- ・販売方法 販売初日の午前は、事前に町内に全戸配布している購入引換券をお持ちの方
それ以降は、町内・町外を問わず、どなたでも購入可能

商品券全世帯配付事業

町内全世帯への商品券配付により、新型コロナウイルス感染症の拡大のため大きく落ち込んだ町内消費を拡大させ、地域経済の活性化を図るとともに、物価高騰に伴いひっ迫する住民の生活を支援する。

【事業概要】

- ・事業費 54,400,000円
- ・事業主体 丸森町商工会
- ・取扱店舗 67店舗
- ・配付内容 町内全世帯に10,000円分の商品券を配付
- ・配付数量 5,000セット
- ・配付方法 郵送(ゆうパック)

3 その他

- 齋理幻夜 8月6日(土) 約17,000名
- サイクルフェスタ丸森 10月1日(土) 約300名

